

令和5年度熊本県総合型地域スポーツクラブ連絡協議会「第2回常任委員会」議事要旨

会場 県民総合運動公園陸上競技場内2階会議室
方法 来場とオンラインのハイブリッド開催
日時 令和5年7月13日(木)午後6時～午後8時
出席者 福永賀友、川口和子、三角陽司(来場3人)
山中清志、桐原正喜、廣田悦生(オンライン3人)
太田黒、野島(事務局2人)

1 開会

2 挨拶 ※山中副会長が遅れて参加のため割愛

3 議長選出 福永理事長

4 報告

(1) 令和5年度クラブ主催事業補助事業について(資料P1～2、別添)

- ・事務局から採択事業全15事業について説明。

5 議事

(1) 研修会の開催について(資料P3)

- ・要望があった会計セミナーについて9月2日(土)に実施を計画している旨説明。
- ・その他研修の希望について意見聴取

―意見―

- ・三角理事：インボイス制度については非常に興味があるためありがたい。
- ・川口理事：

(2) 県民スポーツの日「ふれあいスポーツ」の実施内容について(資料P4～7)

- ・今年度の実施方法について事務局案を提案。意見聴取。

―協議の結果―

・事務局案1で提案した、10月9日(祝)県内各地で実施されるクラブの事業を「県民スポーツの日」の事業として位置づけ、各クラブで実施される事業にて総合型クラブの啓発を行っていただくことで承認された。その際、県教育委員会が作成するポスターに各イベントを掲載いただき、さらに、事務局にて総合型クラブの啓発チラシ等を作成し、参加者に配付することで啓発活動とする。

次年度以降も、予め本協議会加入クラブ宛てに、県民スポーツの日に協力可能な事業を募集し、その実績を県教育委員会に報告する形で協力することで承認。

・事務局案2で、県立総合体育館の大体育室を使って何かするのであれば、トランポリンやニュースポーツ、体力測定などのブース設置ができるといいのではないかと意見があった。(現時点で、理事もクラブの主催事業等が入っていてその日の県立総合体育館での対応ができない方も複数名いる状況)

・本協議会の労力及び経済的な負担を軽減し、総合型クラブの啓発が効果的にできるよう、案1を主軸に準備を進める。

(3) 本協議会の組織体制について(資料P8～11)

・事務局から、これまでの本協議会の経緯を説明し、本協議会の活動や組織体制そのものの見直しの時期に来ている旨説明。今後、本協議会は何をしていくのか、意見聴取

―意見聴取―

・三角理事：各クラブは自クラブの運営で精一杯である。事務的な負担軽減も含め、会議の開催回数を減らし、本協議会としてはクラブが行うことを支援する体制を取る方向性がないのではないか。

・川口理事：様々な会議や事業への出が多いと、クラブとしては負担があり、次世代の受けてがないという要因にもつながると感じる。事業自体の見直しは必要と感じる。

イトメンの事業や、その売上を活用した補助金等の支援は大変喜んでいるクラブがいるため、クラブへのバックアップは非常にありがたいと思う。

—協議の結果—

- ・本協議会の事業の見直しを行い、理事及び事務局の負担軽減と効率化を図る。
- ・理事会等の会議を年に2回程度に減らし、クラブの交流や意見交換ができる機会の創出に重きを置く。

(4) 本協議会の各種事業について (資料 P12)

・事務局から、本協議会のホームページの立ち上げやパラスポーツの活用、復興支援金の活用及び気軽にできる情報交換会について説明。意見聴取。

—意見—

・川口理事；他クラブの活動を知らないため、クラブ見学や交流会があるとよい。とっかかりとなるような機会の創出があるとよい。

・福永理事長：法人化を予定しているクラブや勉強をしたいクラブもあるため研修があるとよい。

・廣田理事：クラブが主催する事業を周知してもらえるのであればしていただきたい。

6 その他

7 閉会

